

# Internet Week 2013

## - 標的型攻撃の現状と対策 2013 -

- 「最近の標的型攻撃の傾向と対応事例紹介」  
正木 健介氏(NRI セキュアテクノロジーズ株式会社)
- 「韓国サイバー攻撃事例」  
コン ヨンソプ氏(株式会社アンラボ)
- 「標的型攻撃に対する備えと対策」  
満永 拓邦氏(JPCERT コーディネーションセンター)
- パネルディスカッション

「最近の標的型攻撃の傾向と対応事例紹介」  
正木 健介氏(NRI セキュアテクノロジーズ株式会社)



標的型攻撃だけではなく、Webサイトに対する攻撃などのセキュリティ上の脅威も高まっており、対策は非常に重要

標的型攻撃の特徴や対応事例からの教訓として  
単一の対策だけではなく多層的な対策が必要

「韓国サイバー攻撃事例」  
コン ヨンソプ氏(株式会社アンラボ)



今年の3月20日、韓国の放送局、金融機関などに対して  
同時多発的にサイバー攻撃を受け社内システムや  
ATMが停止する事態が発生

ウイルス対策ソフトに加え、多層的/総合的な対策により  
セキュリティ対応能力の底上げが必要

## 「標的型攻撃に対する備えと対策」

満永 拓邦氏(JPCERT コーディネーションセンター)



いわゆる「水飲み場攻撃」やゼロデイの脆弱性を狙う攻撃も確認しており、組織内への侵入を防ぐ対策だけでは不十分。  
侵入された時に迅速に検知し対応する仕組みが必要

標的型攻撃を受けた際の全容把握・原因追及のためには  
端末や機器のログ取得などの事前準備が重要

# まとめ

日本の組織に対する標的型攻撃の被害が顕在化している

入口対策だけではなく、多層的、総合的な対策を行うことでセキュリティリスクの軽減を図ることが望まれる

踏み台として規模が大きくない組織も狙われる事例もあり、決して他人事ではない